

令和3年度さいたま市教師塾「夢」講座 閉講式 教育長挨拶文
令和4年4月23日（土）

皆さん、こんにちは。教育長の細田でございます。

さいたま市教師塾「夢」講座の第4期生として学んだそれぞれの講座はいかがでしたでしょうか。

各講座では、教材研究や模擬授業を通して、授業づくりの基礎や、生徒指導、健康教育など、本市の推進する取組について学ぶ、よい機会となったことと思います。また、感染拡大防止のために、様々な活動が制限された今だからこそ、人とつながって学び合うことの大切さを改めて実感できたのではないのでしょうか。

今、すべての講座を終えた皆さんの表情からは、「さいたま市の教師になる」という「夢」に対する熱い思いが伝わってきます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大、そして、それに伴うデジタル化の推進等が示すとおり、社会はこれまで私たちが経験したことのない速度で劇的な変化を遂げようとしています。

このような社会の中で、一人ひとりの多様な幸せ、いわゆる Well-being を実現するために、「学ぶ」ことは、自分を創っていく道であり、その道程は、わくわくするような喜びに満ち溢れたものであるということを、私たちは、子どもたちに、知らせていく必要があります。

そのために、教師自身が常に最新の知識技能を「学び続けていく」ことが、より一層求められており、そうした教師の姿は、必ずや子どもたちが主体的に学び続ける意欲を喚起するものとなるはずです。

この「夢」講座では、経験豊かな教育実践に基づく講義や受講生同士の協議、模擬授業などの演習を通して、自分自身の理想や目標の実現に向けた、確かな成長の一步を実感することができたのではないのでしょうか。

未来を担う子どもたちが学び続けていくためにも、ぜひ、皆さん自身が、この「学ぶ」ことの楽しさや喜びを忘れないでください。

学校現場では、現在も感染症拡大防止と学びの保障の両立に力を注いでいます。この困難な状況下にあっても、さいたま市6000人の先生方の努力によって、デジタル技術を駆使した新たな学校づくりへと大きく歩を進めています。

このような時代にあって、皆さんのように、エネルギーに溢れ、柔軟に思考し、前向きにチャレンジしようと努力し続ける人材が、未来のさいたま市教育には必要です。

皆さんの教師になるという「夢」に向けての熱い思いが、さいたま市教育の飛躍に向けての原動力となります。「夢」講座第4期生の誇りを胸に、これからも一緒に歩んでいきましょう。

さいたま市の子どもたちの輝く未来のために、皆さんとともに働ける日を、今から楽しみにしています。